

# 広島大学病院（取り組み事例）： 市民公開講座報告

## 開概催要

日時：7月28日（日）13：00～15：00  
 場所：中国新聞社ビル 7階 広島市中区土橋7-1  
 テーマ：「わかりやすい肝臓のお話」



～肝がんにならないために、肝がんといわれたら～

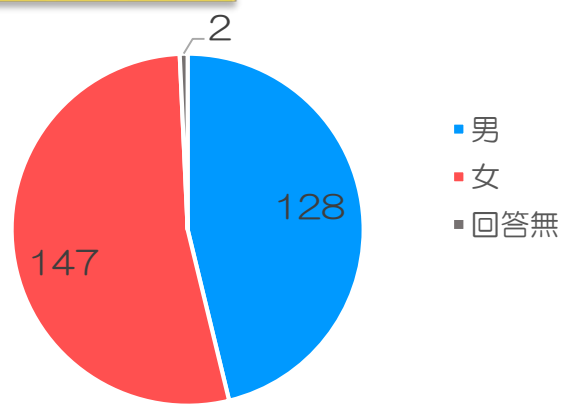
- 講演1「肝臓病の疫学について」  
 広島大学大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学 教授 田中 純子
- 講演2「ウイルス性肝炎、肝硬変の治療について」  
 広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 茶山 一彰
- 講演3「肝がんの治療について」  
 広島大学病院 消化器・移植外科 教授 大段 秀樹

主催：一般社団法人日本肝臓学会，広島大学病院，中国新聞社

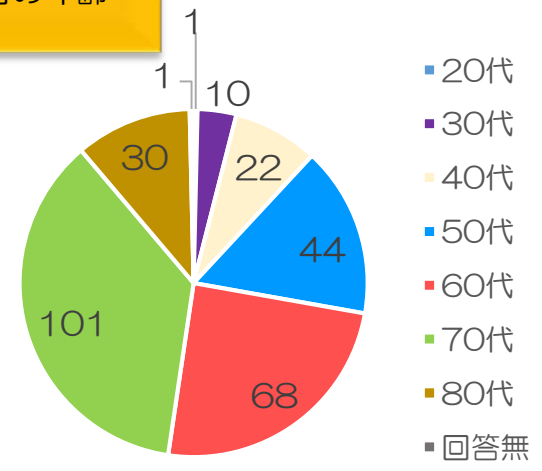
## アンケート結果

参加者総数450名 アンケート回収率61.5%

参加者の性別

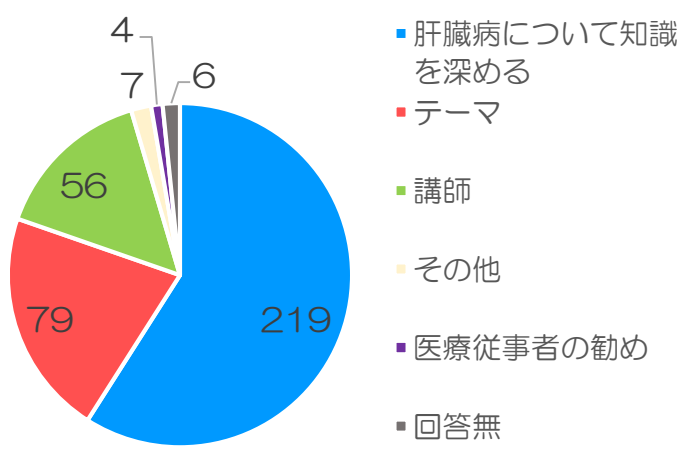


参加者の年齢

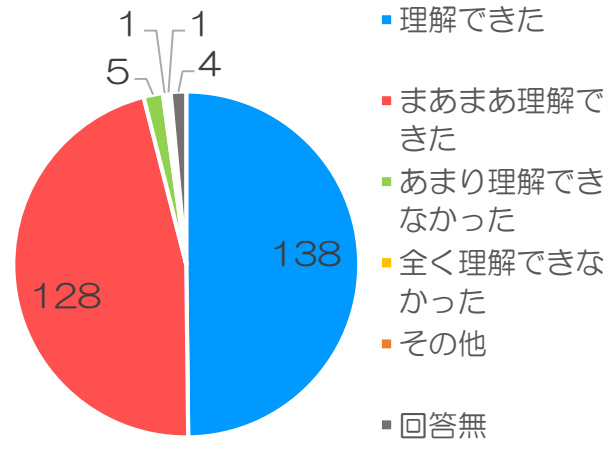


参加の動機

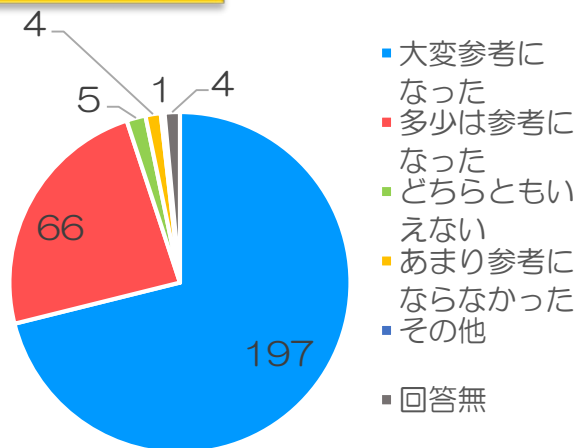
(複数回答あり)



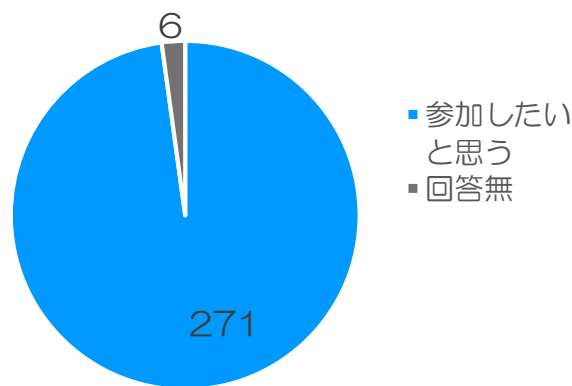
講座の内容



## 講座の感想



## 今後の参加について



## 参加者からの感想

- ▶ 肝臓病について勉強になりました。また参加してみたいです。 (40代 女性)
- ▶ 非常に有益でした。予防の必要性、内服治療、先進的手術の効果など全般的に聞いて治療継続の重要性や癌になっても希望があることが理解できて、とても良かったです。 (60代 女性)
- ▶ 肝臓の予備力を維持することの大切さを各先生の講演から実感しました。2人に1人が癌になるという時代を乗り越えていきたいと思いました。 (60代 女性)
- ▶ 患者にとっては、より知識を深めるため大変参考になりました。今後もこのような講座の開催をお願いします。 (70代 男性)
- ▶ 肝臓について非常にわかりやすい講演会でした。この病気になったときは安心して先生にお任せします。今後の医学の進歩に期待しています。生きていくのが楽しくなりました。 (80代 男性)

## 当日の会場の様子

～啓発資材の設置～

- ①うちわ (中国・四国地区肝疾患診療拠点病院合同企画 作成)
- ②リーフレット (知って、肝炎プロジェクト作成)
- ③パンフレット (広島県薬務課作成)
  - ・ウイルス性肝炎患者さんに役立つ制度
  - ・仕事と治療の両立支援
  - ・痩せれば治るこんな病気～肥満と消化器疾患～

広島大学の3人の教授が肝臓に関連する最新情報を講演しました



多くの方から、問い合わせがありました



啓発資材のうちわとリーフレットの内容を説明し、配布しました



講演中の様子

啓発活動の様子